

1 目指す学校像

帝塚山学院が設立にあたり提唱した「力の教育」を実現し、意志の力、情の力、知の力、躯幹の力といった、広い意味の力の漲った強い人物を育成する。

1. 活力ある人間の育成
2. 創造性豊かな人間の育成
3. 協調性ある人間の育成
4. 国際感覚豊かな人間の育成 を目標とする。

2 中期的目標

1 教育力の強化

(1) 進路指導

- ① 生徒一人ひとりの進路実現
- ② 現役国公立大学合格者数の増加

(2) 学習指導

- ① 英語検定試験対策の実施
- ② AL型授業の導入
- ③ ICT機器の導入

(3) 生徒指導

- ① 基本的な生活習慣の確立，安心安全な学校生活の充実を図る。
- ② 清掃の徹底，挨拶の励行，遅刻の防止
- ③ いじめの防止，携帯電話の使用方法について
- ④ 交通安全指導の強化
- ⑤ 生徒指導の強化

(4) 特別活動

- ① 自主性のある活動の促進，学校行事・課外クラブ活動の充実
- ② キャリア教育の充実と大学見学の実施

2 組織力の強化

3 財務基盤力の強化

(1) 入学生の確保

(2) キャンパスの整備

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析	学校協議会委員からの意見
<p>【学校運営】</p> <p>「入学者を確保するための十分な募集広報活動を、組織的に行っている」・・・96%（昨年度より1%増）</p> <p>「保護者へ授業を公開している」・・・93%（昨年度より2%減）</p> <p>「年間を通じた教育計画（シラバス）を各教科別に立てて実践している」・・・84%（昨年度より1%増）</p> <p>「学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている」・・・84%（昨年度より4%減）</p> <p>「教育課程は学習指導要領に沿っている」・・・83%（昨年度と増減なし）</p> <p>上記5項目は昨年度に引き続き高い評価を得ている。授業参観（4月、11月）、中高別の学校説明会、各地域別のミニ説明会、中学校体験入学、高校オープンキャンパス、中学プレテストを引き続き実施した結果、高い評価が得られた。</p> <p>「危機管理マニュアル、警察、消防との連携、訓練など学校の安全対策は十分とられている」・・・71%（昨年度より3%）</p> <p>「事故、事件、災害時に対処する役割分担が明確にされている」・・・61%（昨年度より2%増）</p> <p>上記2項目は徐々にではあるが、毎年2～3%ずつ上昇しており、今後も担当分掌の教員が中心となり、評価を上げることができると考える。</p>	<p>・社会とのつながり、社会の中で生きていく力を身につけることを意識するという方向性を話しておられましたが、そのような視点がどれほど大切で、またありがたいか、今ならよくわかります。</p> <p>・年齢の低さゆえの元気さも多分にありますが、中学部の方がパワーというか、元気を感じました。</p> <p>・高校は、2019年の肯定率が前年度より下がっている項目が多いのが、少し気になりました。</p> <p>・新型コロナウイルス感染拡大の中、会議の開催形式については最大限の配慮がなされていたと感じます。</p> <p>・今回は主に学校からの報告が中心でしたが、発表者の先生方が、それぞれに資料をかなり作り込まれており、とてもわかりやすい内容でした。例えば生徒指導（バスの乗車マナー指導）の動画なども、私たちが普段見ることのない学校生活の情景でしたので、「ああ、こんな状況なんだ」とイメージが湧きやすかったです。</p> <p>・今回は授業を見学させていただいたことが大変よかったと思います。生徒が真面目にかつ積極的に授業に参加している様子を参観することができました。</p>

【教育内容】

「海外留学制度が有効に実施されている」・・・90%（昨年度より14%増）

「他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている」・・・78%（昨年度より2%増）

海外留学制度に関しては昨年度から14%増という結果が得られた。これは新設された国際教養部により、海外の提携校が大幅に増加し、それにともない海外へ留学する生徒も増えたことが要因であると考えられる。

「職業体験や卒業生による講演会を実施し、キャリア教育の充実に努めている」・・・81%（昨年度より1%減）

「図書館の利用促進など読書指導に取り組んでいる」・・・78%（昨年度より4%減）

「生徒会・自治会活動を通じて、生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している」・・・72%（昨年度より21%増）

「ゴミ、リサイクル、省エネなど身近な問題から環境への関心を高める教育をしている」・・・53%（昨年度より7%増、一昨年度からは16%増）

「生徒に清掃、校内美化意識の向上が図られている。また、施設・設備を大切にすることを育成している」・・・44%（昨年度より11%増、一昨年度からは16%増）

清掃、美化への指導に関して、肯定率は低いものの、昨年度、一昨年度と比較すると数値は増加している。中学校と高等学校の生徒会を中心に、校内美化運動を引き続き行うことでさらなる数値の上昇が望まれる。

・先生方から学校の様子について様々なご説明をいただきましたが、特に、現中学2年生の「泉ヶ丘校に来てよかったと思うこと、泉ヶ丘校の自慢」アンケート結果に注目しました。その中で、「理科の実験がとても多い」という回答が多いことに驚きました。

理科学習において、「観察、実験」は極めて重要な活動です。観察、実験は、生徒が目的を明確にもち、その結果を表やグラフなどに整理して考察することで、はじめて意図的、目的的な活動となり、意味や価値をもつものとなります。こうした観察、実験を充実するためには、教員の高い指導力が求められます。

理科実験という1教科の具体的な授業内容についてこれだけ肯定的な記述が多いということは、そのような授業を求めているということで、他の教科でも一方的な講義形式の授業ではなく、生徒が主体的に思考・考察する授業が増えることが期待されます。先生は生徒を評価しますが、一方で生徒は授業を評価しているということでしょうか。

「いい先生がたくさんいる」「先生が優しい」等先生に対する肯定的評価が多かった事も注目されます。おそらくそれぞれの先生方が授業についても生徒の評価に基づき自らの授業を真摯に振り返るそんな姿勢が生きているのではと思います。

・18歳より選挙権を持つ今日の時代、学生と言えど一社会人としての感覚をしっかりと持たねばならない時代になりました。バスという公共交通機関を利用するにあたり、一般の方々と触れ合う空間の中で、どれだけ自分の行動が他人に影響を与える

【生徒指導】

「学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている」・・・83%（昨年度より7%増）

「補講など生徒の成績向上のための措置は充分になされている」・・・82%（昨年度より3%減）

「ICTを利用して授業を行っている」・・・83%（昨年度より5%増）

学習指導に関しては高い数値を維持しており、ICT機器の使用割合も年々増加している。

「いじめ問題について、保護者と連携をとりながら組織的に対応できる体制がある」・・・73%（昨年度より2%減）

「アンケートを実施し、いじめに対して防止に努めている」・・・81%（昨年度より1%減）

「生徒の生活指導について、学校の一貫した方針に従い、組織的に対応している」・・・70%（昨年度より10%増）

「登下校に際し、生徒指導は円滑におこなわれている」・・・75%（昨年度より7%減）

生徒指導部を中心とした指導により、肯定率が上昇しているが、昨年度より低下している項目もみられた。

か、学生だから許されるという安易な行動をとっていないか、社会性を見に付ける大切な空間、時間であることを学ぶ絶好の機会であることに、視線を向けたすばらしい取り組みだと、感激いたしました。

今後も、ただ教室だけの授業だけでなく、いろんな場所や機会を捉えて、社会人としての感性を磨く生活指導を継続されるよう、期待しております。

3 本年度の取り組み内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み	評価指標	評価	課題と改善策
教育力の強化	<p>Ⅰ 進路指導</p> <p>・生徒一人ひとりの進路実現 (現役国公立大学合格者数の増加)</p>	<p>・通常授業のさらなる充実</p> <p>・通常補習、夏期セミナー、冬期セミナー、2次直前対策講座の充実</p>	<p>「様々な進路希望に対応できるよう、教育課程(選択科目など)は適切に整備されている」(保護者アンケート)</p> <p>目標肯定率：85%</p> <p>「学習指導は充実しており、学力向上に十分な成果を挙げている」(保護者アンケート)</p> <p>目標肯定率：70%</p> <p>①「補講など生徒の成績向上のための措置は充分になされている」(自己評価アンケート)</p> <p>目標肯定率：85%</p> <p>②「補習や講習は統合的に整備され、多様な進路希望に対応できる体制になっている」(保護者アンケート)</p> <p>目標肯定率：70%</p>	<p>【肯定率】 中 83.8% 高 79.4% (30年度は 中学 78.6% 高校 83.5%)</p> <p>【肯定率】 中 71.7% 高 67.7% (30年度は 中学 61.7% 高校 63.4%)</p> <p>中高とも数値が上昇する結果が得られた。</p> <p>①の【肯定率】 82% (30年度は85%)</p> <p>②の【肯定率】 中 64.9% 高 61.8% (30年度は 中学 62.4% 高校 66.8%)</p> <p>昨年度と同様、自己評価アンケートの数値と保護者ア</p>	<p>各学年主任を中心に模擬試験の結果を精査し、通常授業の内容に反映させる。</p> <p>6月と11月に実施している授業見学週間を継続し、その結果を教科会議等で意見交換を行う。</p> <p>学年教員を中心として、適切な講座を設定した補習や進路情報の提供を行う。</p>

				ンケートの数値に 差がみられる結果 となった。	
2 学習指導 ・英語検定 試験対策の 実施	・オンライン英会 話を積極的に導入 し、聞く力・話す 力の向上を目指 す。	「補講など生徒の成 績向上のための措置 は充分になされてい る」(自己評価アンケ ート) 目標肯定率：85%	【肯定率】82% (30年度85%) 昨年度から3%減 少したが、80%を 超える結果となっ た。	国際教養部を中 心として、今年 度より土曜講座 を実施し、英検 準1級と2級の 合格者を増加さ せる。	
・AL型授業 の導入	・AL型授業を中学 校を中心に実施す る。	「教員が計画的に校 外研修を受ける体制 が整っている」(自己 評価アンケート) 目標肯定率：55%	【肯定率】41% (30年度48%) 依然として、肯定 率の上昇がみられ ない結果であっ た。	各教科の教科会 議を利用したの 情報交換を継続。 Cisco Webex を 用いたオンライン 面談を必要に 応じて利用す る。	
・ICT 機器 の導入	・映像を取り入れ た授業の実施。	「ICT 機器を利用し て授業を行っている」(自己評価アンケ ート) 目標肯定率：80%	【肯定率】83% (30年度78%) ICT 機器の利用率 は教科によらず 年々高まってお り、今後も上昇す ることが予想され る。		
3 生徒指導 ・基本的な 生活習慣の 確立	・きめ細やかな遅 刻指導、マナー向 上の呼びかけを実 施	「学校は規則正しい 生活習慣が身に付く ように指導してい る」(保護者アンケ ート) 目標肯定率：80%	【肯定率】 中 84.3% 高 76.2% (30年度は 中学 78.7% 高校 81.3%)	引き続き、生徒 指導部と生徒会 を中心にマナー 向上の呼びかけ を実施する。	
・清掃の徹 底、挨拶の 励行、遅刻 の防止	・生徒指導部教員 を中心とした泉ヶ 丘駅や校門付近で のバス乗車指導の	「登下校の安全や交 通マナーに関する指 導が十分になされて いる」(保護者アンケ ート)	【肯定率】 中 83.8% 高 81.4% (30年度は	今年度も引き続 きバス乗車指導 を行っていく。	

	<p>・安心安全な学校生活の充実を図る</p>	<p>実施</p> <p>・定期テスト間に3回以上遅刻した生徒に対し、早朝登校指導を実施</p> <p>・月1回、アドバイザーを招いての教育相談ケーススタディ会議を実施。</p> <p>助言を基に、不登校気味の生徒のケアを行う。</p>	<p>ート)</p> <p>目標肯定率：85%</p> <p>「学校は保護者の悩みや相談、問い合わせに丁寧に対応している」(保護者アンケート)</p> <p>目標肯定率：80%</p> <p>「カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある」(自己評価アンケート)</p> <p>目標肯定率：80%</p>	<p>中学 81.0% 高校 85.2%)</p> <p>肯定率は上昇し、中高とも 80%台を維持することができた。</p> <p>【肯定率】 中 85.5% 高 75.8% (30年度は 中学 78.0% 高校 81.2%)</p> <p>中学は徐々に数値の上昇がみられるが、高校は低下した。</p> <p>【肯定率】84% (30年度 79%)</p>	<p>学年集会等を通じてマナーの徹底を呼びかける。</p> <p>今年度も月1回のケーススタディ会議を実施。アドバイザーのきめ細やかな助言をもとに、生徒に対応する。</p>
	<p>・いじめの防止，携帯電話の使用方法について</p>	<p>・いじめ対策アンケートの実施</p>	<p>「学校は生徒からの悩みや相談に親身になって対応している」(保護者アンケート)</p> <p>目標肯定率：70%</p>	<p>【肯定率】 中 75.8% 高 66.0% (30年度は 中学 68.8% 高校 68.6%)</p>	<p>集会やホームルームを通じて時に、いじめに対する意識改革に努める。</p>
	<p>・いじめの防止</p>	<p>・人権道徳教育の実施</p>	<p>「アンケートを実施し、いじめに対して防止に努めている」(自己評価アンケート)</p> <p>目標肯定率：80%</p>	<p>【肯定率】80% (30年度 81%)</p>	<p>アンケートの結果を学年主任および担任で共有し、いじめだけでなく他の悩み等も含め対応</p>

					を続ける。
	<p>4 特別活動 ・自主性のある活動の促進，学校行事・課外クラブ活動の充実</p>	<p>・生徒会活動のより一層の活性化</p> <p>・課外クラブ活動への積極的な参加の呼びかけ</p>	<p>「生徒会・自治会活動を通じて，生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している」(自己評価アンケート) 目標肯定率：60%</p> <p>「部活動は学習との両立について配慮がなされているとともに，生徒に十分な指導が行われている」(保護者アンケート)目標肯定率：80%</p> <p>「部活動は活発に行われている」(自己評価アンケート) 目標肯定率：80%</p>	<p>【肯定率】72% (30年度51%) 肯定率が大幅増の21%増となった。</p> <p>【肯定率】 中75.7% 高67.7% (30年度は 中学69.2% 高67.7%) 中高とも肯定率は数%ずつ上昇している。</p> <p>【肯定率】68% (30年度75%) 課外クラブへの参加率は例年並みの約70%である。</p>	<p>中高とも生徒会活動が活性化しており、今後も継続して活動を実施する。</p> <p>放課後の補習はすべて希望制とすることを徹底し、クラブ活動への支障がないよう実施する。</p>
	<p>・キャリア教育の充実と大学見学の実施</p>	<p>・大学見学や卒業生によるキャリア教育講演会の実施</p>	<p>「職業体験や卒業生による講演会を実施し，キャリア教育の充実に努めている」(自己評価アンケート) 目標肯定率：85%</p>	<p>【肯定率】81% (30年度82%)</p>	<p>中学部会、高校部会を中心に、卒業生等による講演会を実施する。</p>
組織力の強化	組織力の強化	<p>・学年主任と中心として学年での報告連絡相談を徹底し、一貫した対応</p>	<p>「教員はチームワークがとられており、一貫した対応が期待できる」(保護者アン</p>	<p>【肯定率】 中73.2% 高62.7% (30年度は</p>	<p>一貫した対応については年々上昇している。各学年での報告連</p>

		を行う	ケート) 目標肯定率：80%	中学 56.5% 高 56.9%) 肯定率は中高とも 上昇している。特 に中学は約 17% の上昇がみられ た。	絡相談をより徹 底することで、 肯定率の上昇も 期待できる。
財務 基盤 力の 強化	入学者の確 保	・オンラインでの 説明会を実施	「入学者を確保する ための十分な募集広 報活動を組織的に行 っている」(自己評価 アンケート) 目標肯定率：95%	【肯定率】96% (30年度95%) 昨年、一昨年と同 様90%以上とい う高い割合を保っ ている。	オンライン説明 会を中心に、広 報活動を実施す る。
	キャンパス の整備	・エアコンの取替 工事 ・体育館の修繕	「施設・設備は、よ く整備されている」 (保護者アンケート) 目標肯定率：90%	【肯定率】 中 82.1% 高 82.7% (30年度は 中学 86.4% 高 84.6%) 昨年度から数%減 少した。	老朽化したエア コンの取替工事 を行う。また、 必要に応じて設 備の改修を行 う。

※ 自己評価アンケート、保護者による学校評価アンケートは 1：達成できている 2：ほぼ達成できている 3：あまり達成できていない 4：まったく達成できていない の4段階に分けて回答。肯定率とは、全ての回答における1と2の回答の割合のこと。
肯定率 [%] = (1と2の回答数 / 全回答数) × 100 で計算した。